



MADRIGAL AUDIO LABORATORIES

DUAL MONAURAL
POWER AMPLIFIER

No334L/No335L/No336L

取扱説明書

harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社

1. はじめに

このたびは、マークレビンソン No 330 L シリーズ パワーアンプをお買い上げ戴きありがとうございます。ご使用前に必ずこの取り扱い説明書をお読み戴き、正しい操作で、末長くご愛用下さい。

2. 開梱にあたって

No 330 L シリーズ各モデルの梱包重量は50kgを越えます。開梱は必ず2名以上で行ってください。開梱、設置を容易にするため、ノンスリップ加工された2名分の手袋が付属しています。また、移動の際はスピーカーターミナルなどの突起部を持たず、本体ヒートシンク（放熱器）下部を両手でしっかりと持って運んでください。

外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じます。もし、万一損傷や故障が認められた場合は、直ちにご購入店にご連絡下さい。

オリジナルの梱包材は、緩衝材等を含め開梱後もお手元に保存下さるようにお薦めします。修理等のために製品を輸送されるような場合、オリジナル梱包以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じても、責任を負いかねますのでご注意下さい。

3. 付属品

本体の他に、下記の付属品が納められていますので、お確かめ下さい。

- AC電源ケーブル×1（No. 336 Lを除く）
- 3P-2P変換ACプラグ×1
- 手袋（軍手）×2組

4. 保証について

保証は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、保証書をよくご覧下さい。仕様変更、バージョンアップなどに伴うアフターサービスは、保証期間の有無にかかわらず有償となります。また、その際の送料はお客様負担となりますのでご了承下さい。

5. 設置

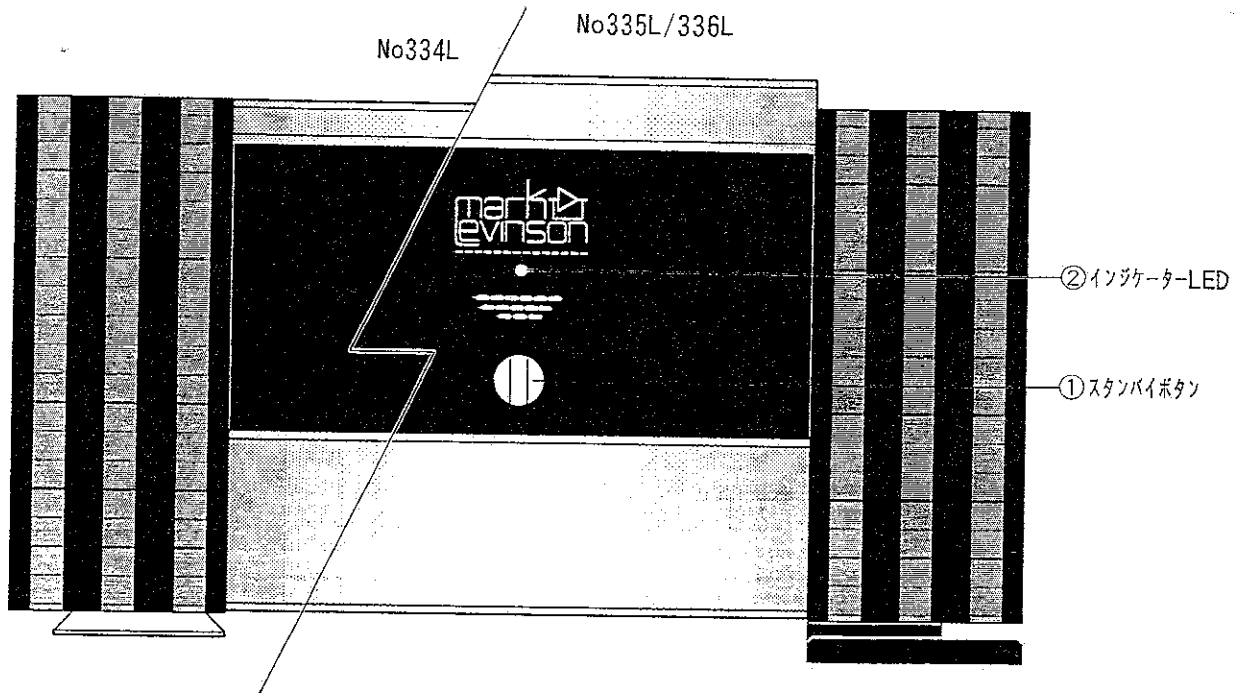
側面のヒートシンク（放熱板）は、大量の放熱をするため、左右および上面には十分な空間を設け、熱の対流を妨げないように設置場所を決めて下さい。放熱の効率が悪いと、本体の温度が上昇し、最後にはサーマルセンサーが働いて、電源がOFF（オフ）になってしまいます。

本機は非常に大きな電流容量の電源を持っていますので、アナログ・プレーヤー、ヘッドアンプ、プリアンプ等の微弱レベルを増幅する他の機器の近くに設置すると、誘導ハムを引き起こすことがありますのでご注意下さい。スペース効率を高め、出力特性を十分に発揮させるために、本機をスピーカの近くに設置することをお薦めします。

6. 電源

No330Lシリーズは、一般家庭でのご使用に合わせて100Vにセットされています。また、本機は大量の電流を必要とします。電源は他の機器との共用を避け、独立したコンセントを使用して下さい。テーブルタップなどの電源延長ケーブルはご使用にならないようお願い致します。

7. フロント・パネル各部の名称と働き



① スタンバイボタン

このボタンを押すことにより、本機は電源オフの状態からスタンバイ・モード、さらに動作状態になります。電源ケーブルをコンセントに接続後、リアのメインスイッチを“|”の側に倒すと、赤いインジケータが薄く点灯します。スタンバイ・ボタンを軽く押すと、インジケータが明るく点滅し、スタンバイの状態になります。約10秒経過後、もう一度このボタンを押すと、本機は動作状態になり、インジケータが明るく点灯します。

通常、本機を使用しない時はスタンバイの状態にしておくと、主要回路が常に通電されているため、動作状態にした際にすぐに本来の性能を発揮させることができます。

動作中にボタンをもう一度押すとスタンバイ状態になり、音は出せなくなります。また、ボタンを数秒間押し続けると、本機の主要回路が電源オフの状態になり、インジケータが薄く点灯します。

《注意》

本機がスタンバイ状態の時、本体上部から熱を発生しますが、これは主要回路が通電されているためで異常ではありません。また、本機はスタンバイ状態で約100W~200Wの電力を消費します。外出の際は必ず電源をオフの状態にして下さい。また、長期に渡り外出される際には、リアパネルのメインスイッチをオフの状態にし、必ず電源ケーブルをコンセントから抜き取っておいて下さい。

本機は次のような異常を感知すると内部の保護回路が働き、自動的に電源をオフの状態にします。この場合、異常が改善されるまで電源は入りません。

- 出力への直流漏れ
- A C電源の過大電圧もしくは電圧降下
- 異常温度上昇

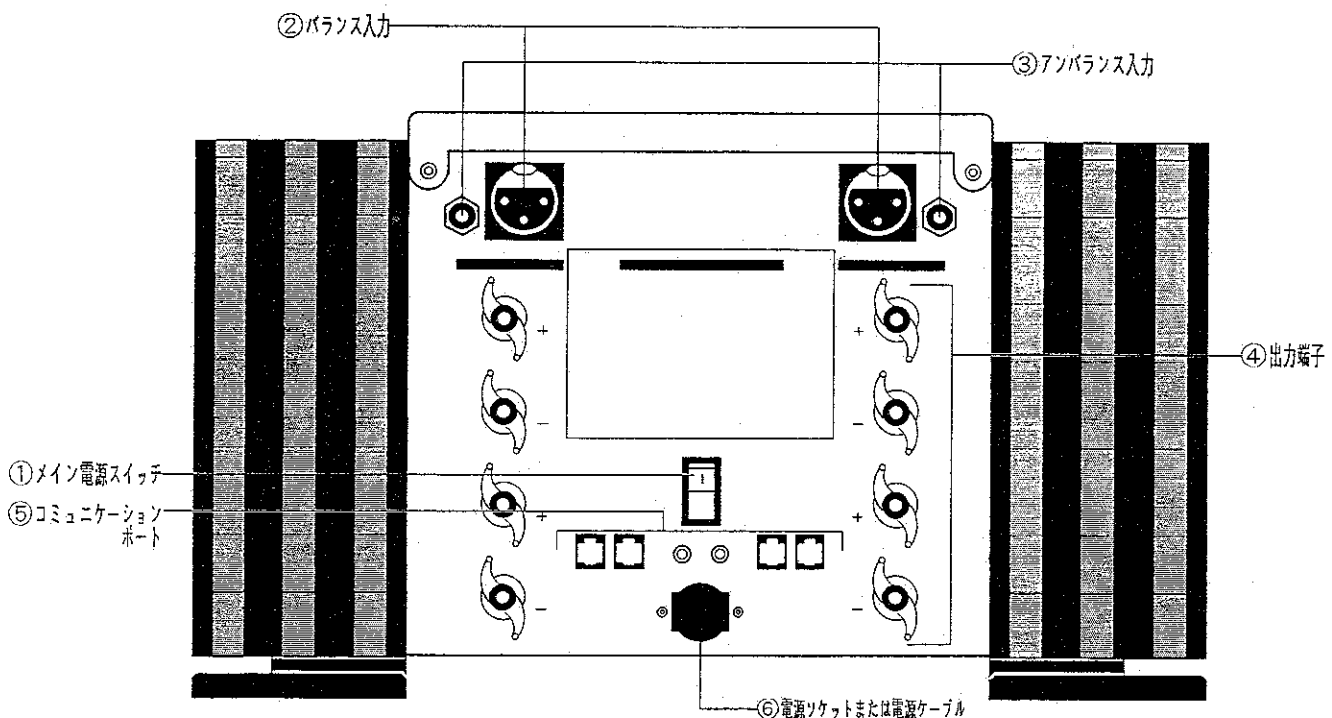
スタンバイボタンを押し続けても電源がスタンバイの状態にならない場合は、電源や入出力ケーブルの接続を確認してください。接続に誤りがなく、または誤りを訂正しても電源が入らない場合には、ご購入店もしくは弊社サービスセンターまでご相談下さい。

② インジケータLED

本機が動作状態の時に点灯し、スタンバイ状態のときは点滅します。また、電源オフの状態では薄く点灯し、メイン電源が入っていることを示します。

8. リア・パネル各部の名称と働き

リアパネルの各部への接続は、接続するすべての機器の電源を切ってから行って下さい。



① メイン電源スイッチ

本機のメイン電源を入れるスイッチです。スイッチを上側の“|”側に倒すと、オペレーション回路と保護回路に電源が入り、フロントパネルのLEDが薄く点灯し、スタンバイ・ボタンで電源のオン/スタンバイ/オフの操作ができる状態になります。

スイッチを下側に倒すと、総ての電源がオフの状態になります。

② バランス入力(balanced input)

XLRコネクターによるバランス出力を持つプリアンプとの接続に使用します。バランス入力端子の3番ピンと1番ピンの間に差し込まれているショートピンを、ラジオペンチなどで引き抜き、XLRプラグ(オス)を接続してください。抜き取ったショートピンは、本機でアンバランス接続を行う際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

No.330Lシリーズのクォリティーを十分に引き出すため、プリアンプとの接続にはバランス入力の使用をお勧めします。

本機のXLRコネクターは、以下のピン配列になっています。

XLRコネクターのピン配列



1番ピン	シグナル・グラウンド(シールド)
2番ピン	ホット(プラス)
3番ピン	コールド(マイナス)
コネクターラグ	シャーシ・アース

③ アンバランス入力(single ended input)

RCAタイプのアンバランス出力を持つ機器を接続します。No.330Lシリーズのアンバランス入力を使用する場合には、XLRバランス入力端子の3番ピンとシグナルグラウンド間にショートピンを差し込んでおいて下さい。

④ 出力端子(outputs)

スピーカーケーブルを用いてスピーカーシステムを接続します。+(赤)・-(黒)を間違えないように注意して接続して下さい。

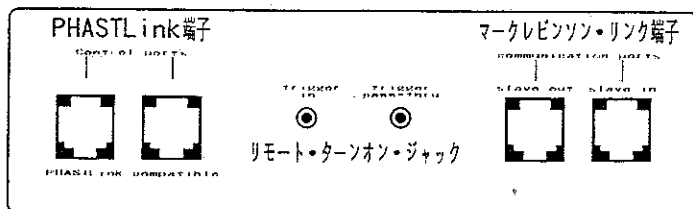
本機には2組の出力端子が備わっています。上下どちらの端子をご使用になってもかまいません。バイワイヤ接続が可能なスピーカーシステムをご使用になる場合には、高域/低域用ケーブルの+・-をそれぞれ上下の+・-端子に接続して下さい。

本機の出力特性を十分に発揮させるために、スピーカーケーブルは出来るだけ短くなるよう配線を工夫してください。このため、本機をスピーカーシステムの近くに設置することをお勧めします。

《注意》 出力端子を力まかせに締め付けると、端子のプラスチック部分を破損させる恐れがありますので、ご注意ください。スピーカーケーブルを接続する際は、出力端子をショートさせないように充分にご注意下さい。安全のため、スピーカーケーブル端末にはY型(またはU型)圧着端子を取り付けた上でご使用下さい。

トラブルを避けるため、本機の出力端子にシステムセクターなどの機器を接続しないで下さい。

⑤ コミュニケーション・ポート(communication ports)



I. スレーブ・イン/アウト端子(slave in/slave out)

マークレビンソンのNo 380Lシリーズのプリアンプと接続し、プリアンプのスタンバイ・ボタンの操作により本機の電源をスタンバイから動作状態にすることができます。

また、本機にトラブルが発生した場合、コミュニケーション・リンクが接続されていると、プリアンプのディスプレイに以下の表示が表れ異常が発生したことを知らせます。

表示	異常内容
HOT!	異常温度上昇
DCO!	直流漏れ

コミュニケーション・ケーブルを用いてプリアンプのマスター(master)ポートと本機のスレーブ・イン(slave in)ポートを接続します。2台のNo 330Lシリーズ・アンプを使用する場合には、1台のスレーブ・アウト(slave out)ポートともう一台のスレーブ・イン(slave in)ポートとを接続してください。

コミュニケーション・ケーブルをご入用の際は、ご購入店または弊社サービスセンターへご相談下さい。

II. リモート・ターンオン・ジャック(trigger in/trigger pass-thru)

プロシード“p a v”AVプリアンプなど、他のAV関連機器と組み合わせて使用する場合に、各機器のリモート・ターンオン・ジャック(remote turn-on jacks)と3.5φミニプラグ付きケーブルで接続すると、接続した機器のスタンバイ・ボタンの操作により本機の電源をスタンバイから動作状態にすることができます。ミニプラグ付きケーブルをトリガー入力(trigger in)に接続し、パス端子(trigger pass-thru)にはダミープラグ(何も接続されていない空きプラグ)を接続して下さい。複数のアンプを連動させる場合には、パス端子から他のアンプのトリガー入力に接続し、最後に接続された機器の空いている端子にダミープラグを差し込んで下さい。

本機はDC 5V～12Vのレベル出力(連続出力)を感知した時、動作状態となります。

III. PHAST™リンク・コントロール・ポート(PHASTLink compatible control ports)

家電製品の総合コントロールを可能にするホームオートメーション用規格“PHASTLink™”対応のコントロール用ポートです。“PHASTLink™”規格の機器以外は接続しないでください。

⑥ 電源ケーブル

他のすべての接続が終わったことを確認した上で、AC電源ケーブルをコンセントに接続します。No 334LとNo 335Lには、3極IECソケット付きACケーブルが付属していますので、このソケットを本機のAC電源入力端子に接続した上で壁のACコンセントに接続してください。本機は大量の電力を必要とするため、電源は必ず壁のコンセントに直接接続し、テーブルタップなどの電源延長ケーブルはご使用にならないようお願いします。

9. 保守

お手入れの際には、必ず柔らかい布で乾拭きするようにして下さい。汚れがひどいときには、薄い石鹼水に柔らかな布を浸し、固く絞って汚れを拭きとった後、乾いた布で拭いて下さい。ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の液体で拭いたり、近くで殺虫剤を散布したりすることは避けて下さい。

お手入れの際は、本機および本機に接続されている機器の電源を切り、接続ケーブルを外しておいて下さい。

10. 規格

	No 3 3 4 L	No 3 3 5 L	No 3 3 6 L
モデル			
定格出力 (20Hz~20kHz, THD<0.5%)	125W/ch(@8Ω) 250W/ch(@4Ω) 500W/ch(@2Ω)*	250W/ch(@8Ω) 500W/ch(@4Ω) 1,000W/ch(@2Ω)*	350W/ch(@8Ω) 700W/ch(@4Ω) 1,400W/ch(@2Ω)*
周波数特性(-0.1dB)	20Hz~20kHz	20Hz~20kHz	20Hz~20kHz
ノイズレベル(1W基準)	-80dB以下	-80dB以下	-80dB以下
入力端子	RCA(アンバランス)×1組 XLR(バランス)×1組	RCA(アンバランス)×1組 XLR(バランス)×1組	RCA(アンバランス)×1組 XLR(バランス)×1組
入力インピーダンス	100kΩ(バランス) 50kΩ(アンバランス)	100kΩ(バランス) 50kΩ(アンバランス)	100kΩ(バランス) 50kΩ(アンバランス)
利得	26.8dB	26.8dB	26.8dB
入力感度	1W(@8Ω)出力時:130mV 定格出力時:1.30V	1W(@8Ω)出力時:130mV 定格出力時:1.80V	1W(@8Ω)出力時:130mV 定格出力時:2.25V
出力端子	大型バインディングポスト×2組	大型バインディングポスト×2組	大型バインディングポスト×2組
消費電力(±5%)	スタンバイ:110W 無信号時:260W 定格出力時:834W(@8Ω) 最大出力時:2,451W(@2Ω)	スタンバイ:200W 無信号時:325W 定格出力時:1,459W(@8Ω) 最大出力時:4,309W(@2Ω)	スタンバイ:200W 無信号時:350W 定格出力時:2,107W(@8Ω) 最大出力時:5,420W(@2Ω)
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	446×238×479mm	446×262×486mm	446×262×486mm
梱包重量	51.4kg	62.2kg	68.2kg
本体重量	45.0kg	56.0kg	62.0kg

*十分な電源供給が得られる場合。